

未来への挑戦



将来像を“文化交流都市 笠間 ～未来への挑戦～”と位置づけ、まちづくりへの「挑戦」を続けています。

平成31年度施政方針

次世代に負の遺産を残さず、「夢」を実現させるための基盤を。慣行、既存の概念にとらわれず、真に必要なとされる政策に財源を。そして、地域のさまざまな力を集結しながら、自分の持つ能力を発揮できるまちを目指していく。

平成という時代が幕を下ろします。

平成は東日本大震災をはじめとする大きな自然災害が発生した時代でした。

また、世界でも類を見ないほどの速さで進む人口減少と少子高齢化など、我が国における大きな転換期とも言える時代でした。

急激な人口減少・少子高齢化の進展により、地方では地域コミュニティの存続危機、若者の減少による地域産業の担い手不足や後継者不足などといった、これまで経験しなかった新たな課題も生まれています。

しかし、いつの時代にあっても、日本人は力を合わせ、知恵を絞って、互いに支えあい困難を乗り越えてきました。

一方、平成は科学技術の目覚ましい成長、インフラ・物流などの飛躍的な発展により、我々の暮らしは豊かになりました。特に、情報通信技術の革新は目覚ましく、今ではどこにいてもスマートフォンを活用し、欲しいものを手に入れることができます。平成が始まった頃には夢と思われていたことが、この30年ほどの間で当たり前のこととして存在しています。

昨年、平町に在住する書道家の米川香庵先生から、市内の小中学校、子ども園などに書が寄贈されました。その中の一つに中国最古の書体で、力強く「夢」という字が書かれています。

平成という時代は、まさに「夢」という言葉の持つ明るさ、人が夢を叶えようと思う気持ちの強さ、そして、夢を叶えるために発揮する力の素晴らしさを感じることができた時代であったと思います。

今、市政の舵取りを担う我々の使命は、次の世代に負の遺産を残さず、「夢」を実現させるための基盤づくりを進めることです。これまでの慣行、既存の概念などにとらわれず、真に必要なとされる政策に財源を充てていきます。

子どもから若者、高齢者、そして、外国人、LGBTなど、世代、人種、性別にかかわらず、「自分の持つ能力を発揮できるまち」を目指し、地域のさまざまな力を集結しながら、新たな時代に向けた取り組みを進めていきます。

CONTENTS

特集 未来への挑戦 平成31年度施政方針

2

次世代に負の遺産を残さず、「夢」を実現させるための基盤を。慣行、既存の概念にとらわれず、真に必要とされる政策に財源を。そして、地域のさまざまな力を集結しながら、“自分の持つ能力を発揮できるまち”を目指していく。

4

上下段

PICK UP

重要事務事業と、平成31年度予算

4

中段

重点課題

ライフステージに応じた笠間暮らしの構築。 — 仕組みの改革による課題解決 —

世代に応じた支援策の充実・文化を継承する産業支援の展開
人の活躍と産業の成長を促進する場の創出と再成を図る。

6

中段

平成31年度 予算

人材の育成と確保、サービスの質的充実を図る。

10

中段

市民一人当たりに使われるお金

笠間市の財政状況をもっと知ろう！

笠間市公式ホームページで、さらに詳しく財政状況が確認できます。

<http://www.city.kasama.lg.jp>

▶ トップページから予算概要で検索



企業進出が続く茨城中央工業団地（笠間地区）

1 妊娠・出産～子育て期における切れ目ない支援 [事業費 97,061千円]

将来の笠間市を担う子どもたちが健やかに成長できるよう子育て世代に対し切れ目ない支援を行います。

【母子保健事業】

- 【特定不妊治療費補助事業】
- 【子育て世代包括支援センター事業】
- 【食育推進事業】
- 【在宅子育て支援事業(ママリフレッシュ事業)】
- 【病児保育事業】



2 保育の質の向上 (保育補助者等の配置による保育士負担軽減、保育資格者の復職等支援による保育士確保) [事業費 12,289千円]

【保育士就労支援事業】

市内の保育所等に就業した正規雇用の保育士等に対し、就職準備金として20万円を補助します。

【保育体制強化事業】

保育士の負担を軽減するため、清掃業務や給食の配膳などをサポートする人員を配置します。

【保育補助者雇上強化事業】

民間保育所等で、保育士の負担を軽減するため、保育補助などを行う人員を雇用した場合、その費用の補助を行います。

【保育所等の事故防止推進事業】

午睡中の乳幼児突然死を防止するため、民間保育所などが事故防止備品を購入した場合に、その費用の一部を補助します。

人口減少・少子高齢化といった構造的な課題がある中で、多様化する生活スタイルに対応するには、きめ細やかな行政サービスの展開と質の向上を図ることが必要です。平成31年度の事業検討にあたっては、行政改革を推進しつつ、事務事業の見直しやビルド・アンド・スクラップにより、効率的で実効性の高い行政運営を目指し、可能な限り経費の見直しを図りながら、重点的な課題へ新たな取り組みを積極的に進めるものとなりました。

持続する笠間暮らしの構築に向け、重点課題を、「ライフステージに応じた笠間暮らしの構築」と設定し、社会の変化に対応する抜本的な仕組みの改革も視点としながら、公民連携による人材の育成、確保およびサービスの質的充実を図るため、次の3点をテーマとして重要事務事業を選定しました。

平成31年度は、
ライフステージに応じた
笠間暮らしの構築。
—— 仕組みの改革による課題解決 ——

4 保育環境の向上 [事業費 403,837千円]

【児童クラブ運営事業】

公設児童クラブの定員の拡充を図るとともに、民間児童クラブに運営費の一部を補助し、利用定員数の拡大を図ります。

【ファミリーサポートセンター事業】

ひとり親家庭(低所得者)に対して、利用支援を行います。

【保育所等整備交付金事業】

民間保育施設の施設整備補助を行います。

【公私連携認定こども園事業】

市立かさま、いなだこども園を、公私連携幼保連携型認定こども園として、学校法人大成学園の運営により開園します。



3 子育て世帯の費用負担の軽減 [事業費 676,021千円]

【医療福祉費支給事業】

妊産婦、小児(外来:0歳~小6まで、入院:0歳~高3まで)、ひとり親世帯、重度心身障害者の医療費を助成します。

【医療福祉費支給事業・市単独分】

中学生外来医療費を助成します。

【医療福祉費自己負担金助成事業・市単独分】

医療福祉費支給の対象者(中学生・高校生は除く)が医療機関に支払った自己負担金および入院時の食事療養費を助成します。

【予防接種事業】

- 任意予防接種の費用を助成します。
- ・ロタウイルス(新規) ・おたふくかぜ(新規)
- ・風しん(新規) ・小児インフルエンザ

第2次総合計画で定めた将来像は、文化交流都市。その将来像実現に向けた都市基盤など7つの政策の方針に基づき、それぞれの政策と目標を達成するため、平成31年度に選定した重要事務事業は75事業。その中の一部をピックアップします。
※75事業はホームページからご覧いただけます。
<http://www.city.kasama.lg.jp/page/page003317.html>

5 公営住宅活用による子育て世帯向け住宅支援 (県営福原アパート・市営福原住宅)

[事業費 7,616千円]

県営福原アパートおよび市営福原住宅の入居率が低下していることから、両公営住宅を活用して子育て世帯の負担軽減を図り、子育て世帯の移住定住を促進します。

【公営住宅子育て世帯支援事業】

入居した子育て世帯(0歳児から中学3年生)に、月額10,000円を助成します。

【公営住宅入居者学習支援事業】

県営福原アパートおよび市営福原住宅に入居している世帯の小学5年生から中学3年生までの児童および生徒を対象に、ICT学習を取り入れた学習教室を、団地集会場で行います。※受講料月額2,000円。



6 ソーシャルサポート強化学業 [事業費 16,763千円]

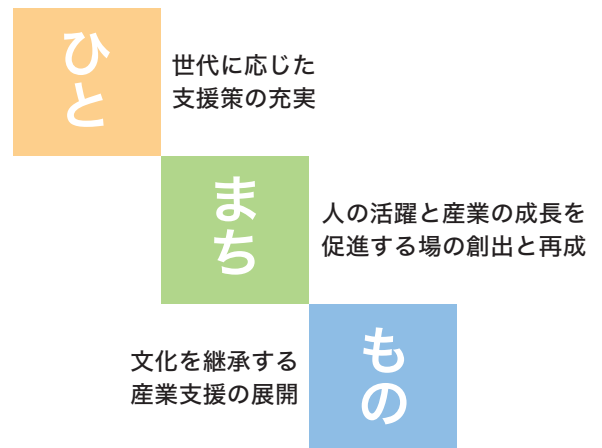
発達が気になる子どものライフステージに応じて、保健・教育・福祉の3分野が連携する支援を拠点とした「児童発達支援センター」を2020年4月に開設し、各種施設や専門機関との連携をとりながら適切に支援が受けられるようにします。

【児童発達支援センターの整備】 【自殺対策の強化】 【ひきこもりサポートの充実】

平成31年度は、第2次総合計画と笠間市創生総合戦略に即した75事業を重要事務事業に選定しました。特徴的な事業は世代に応じた支援策の充実として、プレコンセプションケア事業や在宅子育て支援事業など妊娠・出産から子育て期における切れ目ない支援策の強化や働き方改革の更なる推進を実施します。

文化を継承する産業支援の展開として、企業誘致の推進や創業支援、事業継承支援の強化、笠間市台湾交流事務所によるインバウンドの促進などを進めていきます。

更に、ひとの活躍と産業の成長を促進する場の創出と再生として、「道の駅」の整備をはじめ、市内拠点施設の活用強化策を推進していきます。また、空家や空地を含めた既存ストックの有効活用など更なる取り組みを進めていきます。



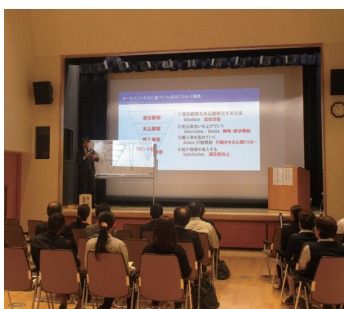
8 地元企業人材確保の支援強化

(インターシップ促進・企業向けセミナー・学生マッチング強化等)

[事業費 12,653千円]

インターンシップ促進に向けたマッチングサイトの運営や学内フェア、体験バスツアーなどを実施します。高校生を対象とした説明会の開催や直接採用の機会となる就職面接会を実施します。

【インターンシップ促進事業】 【就職面接会】 【高校生向け説明会】



7 糖尿病重症化予防・認知症予防

(ライフステージに応じた支援の充実)

[事業費 10,896千円]

【糖尿病予防教室・糖尿病重症化予防教室】

健康教室で生活習慣の見直しを促し、糖尿病の発症と重症化を予防します。

【糖尿病性腎症重症化予防事業】

医療機関と連携して保健指導を行うことにより、人工透析への移行を防止し、医療費の適正化(削減)を図ります。

【介護予防把握事業】

認知症気づきのチェックリストを送付して、早期受診や生活習慣改善等につなげていきます。

筑波大学と連携して、介護(認知症)予防運動実践者等のデータ収集・分析等を実施します。

9 事業承継支援の強化 [事業費 9,071千円]

【商工業の事業承継促進】

支援体制の整備および中小企業等の経営者を対象に問題意識啓発のためのセミナーを開催し、事業承継計画策定など個別支援を実施します。

【農業担い手の育成支援】

新規就農者および農業後継者の確保を目指し、就農に必要な研修や施設・機械等の整備に係る費用を支援します。

10 地域の鳥獣被害防止活動の促進(電気柵・防護柵購入補助、捕獲活動補助等) [事業費 20,660千円]

【わな猟免許取得促進助成】

地域のために捕獲活動を行う方に免許取得にかかる費用を補助します。

【イノシシ捕獲補助】

一頭捕獲当たり5,000円を補助します。

【イノシシ処分補助】

捕獲したイノシシの解体・処分に5,000円を補助します。

【地域の捕獲団体活動支援】

地域で捕獲活動を行う団体(5名以上)の活動費を支援します。

【農業被害防止事業】

電気柵、防護柵および電子機器の購入費を助成します。

【傷害保険料負担および箱わな貸出】

地域捕獲団体の活動に対し傷害保険の加入と箱わなの貸し出しを行います。

【地域捕獲団体の連絡協議会設置】

イノシシ捕獲の講習会などを行い、団体間の連携強化を図ります。



人材の育成と確保、 サービスの質的充実を 図る予算。

平成31年度予算

歳入は、経済状況の好転による法人市民税の増や償却資産の増加による固定資産税の増が見込まれ、市税全体では増収となる見込みです。

市税とともに歳入の根幹をなす地方交付税は、合併特例加算の段階的削減や、市税の伸びなどのこれまでの実績を踏まえ、前年同額で見込んでいます。

歳出は、障害者自立支援給付など社会保障関係経費や公債費の増加を見込んでいます。また、公共施設の維持・更新等に多額の経費が必要になることから、財政状況は依然として厳しい状況となっています。

そのため、予算編成の基本的な考え方として、限られた貴重な財源を有効活用するため、必要性が高い事業に重点を置いた予算とすることを掲げました。

一般会計予算、特別会計予算および企業会計予算を合わせた平成31年度の予算総額は539億2,392万5千円で、昨年度と比較すると13億9,949千円、率にして2.5%の増加となっています。予算編成に当たっては、ライフステージに応じた笠間暮らしの構築を重点課題として、持続する笠間暮らしの構築に向け、社会の変化に対応する抜本的な仕組みの改革も視点としながら、公民連携による人材の育成、確保およびサービスの質的充実を図るための予算としました。

11 栗の産地づくりの推進(栗の生産拡大等の支援) [事業費 18,020千円]

【遊休農地等を活用した笠間の栗生産拡大事業】

管理の行き届かない栗畑や遊休地を借り上げて生産量を拡大します。

【かさま新栗まつりの強化】

栗生産農家、菓子業者等が一体となり、栗に関連するさまざまな情報を幅広く発信してブランドの確立と地域産業の振興を図ります。

【栗農家ヘルパー活用支援事業補助金】

栗の生産に関わるヘルパーの雇用経費を補助します。

【栗生産規模拡大支援事業補助金】

作付面積を10a以上拡大した農家に補助を行い、経営規模拡大と遊休農地の抑制を図ります。

【栗苗木支援事業補助金】

計画的な苗木(40本以上)の新植や品種更新を推進し、品質向上による生産振興を図ります。



12 観光戦略の推進(インバウンド観光の強化・かさまコンシェルジュ) [事業費 21,625千円]

市民が主役となり、地域の恵み、養われた知恵や技などを見直し、多様化する観光ニーズに対応できるよう市民や事業者と連携して、「笠間らしい魅力あふれる創造性豊かな観光のまち」を目指します。

【観光戦略推進事業】

市民一人ひとりが観光を支える担い手であるという意識を醸成します。

携帯電話の位置情報を活用したデータ収集を進め、正確な観光動態の把握を行います。

【かさまコンシェルジュ事業】

「かさま観光大使」制度などを見直し、新たに「かさまコンシェルジュ」を創設します。

事業所向けの啓発活動を進め、まちの人達が自発的に観光案内ができるまちづくりを進めます。

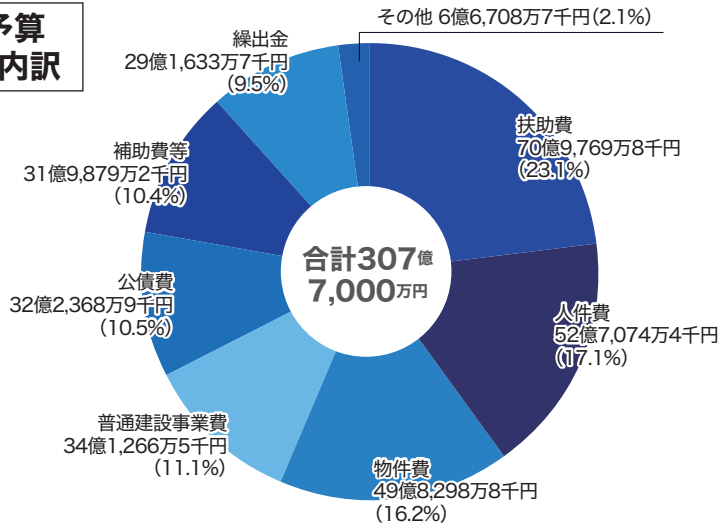
【外国人旅行者受入事業】

国際的なPR活動の展開をするとともに、笠間市台湾インバウンド推進協議会と連携し、訪日外国人が快適に滞在できる態勢の整備を進めていきます。



国内外からの誘客を図る3つの施策

歳出予算 性質別内訳



一般会計

一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成31年度の一般会計予算は、307億7,000万円となっています。

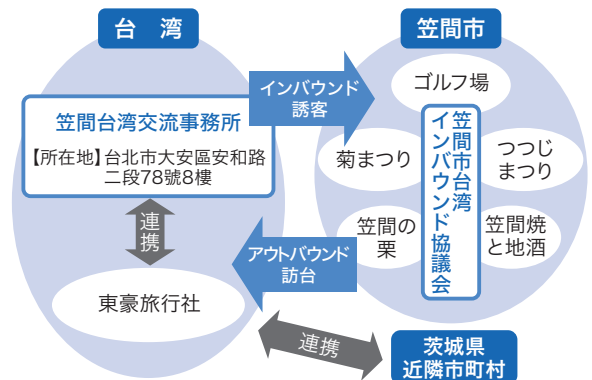
13 台湾交流事務所を軸としたインバウンドや観光等の推進 [事業費 17,601千円]

【台湾からの外国人観光客誘客促進】

旅行博・商談会等を活用した観光PRやツアー造成に向けた働きかけを行います。

メディア媒体を利用したPRを行います。

繁体字によるHP・FBでの情報発信を行います。



【オリンピック・パラリンピック

事前キャンプ地における誘致活動】

ゴルフ協会・オリンピック委員会へ継続して働きかけ、誘客や交流(ジュニア、アマチュア等)を促進します。

【茨城県および県内市町村との広域連携による誘客促進】

広域連携による誘客プロモーションを実施し、日本観光物産博覧会や台湾国内で開催される旅行博等で観光PRを行います。

【台湾政府および自治体との連携による交流人口の拡大】

台北つつじまつりとの連携を図ります。

14 児童発達支援の強化 [事業費 62,958千円]

就学前教育アドバイザーや特別支援教育支援員および指導専門員を配置し、支援の必要な児童への支援を行います。

【ことばと心の教室運営事業】

発達に課題のある幼児を支援します。

【特別支援教育支援員配置事業】

特別な教育的支援が必要な児童に対し介助、学習支援を行います。

【就学前教育アドバイザー配置事業】

特別な教育的支援が必要な幼児を早期発見し、就学前教育の充実を図ります。

【特別支援教育指導専門員配置事業】

市内特別支援学級を巡回し、特別支援担当教諭等を訪問指導するなど支援します。

15 きめ細かな学校教育サポートの推進 [事業費 12,966千円]

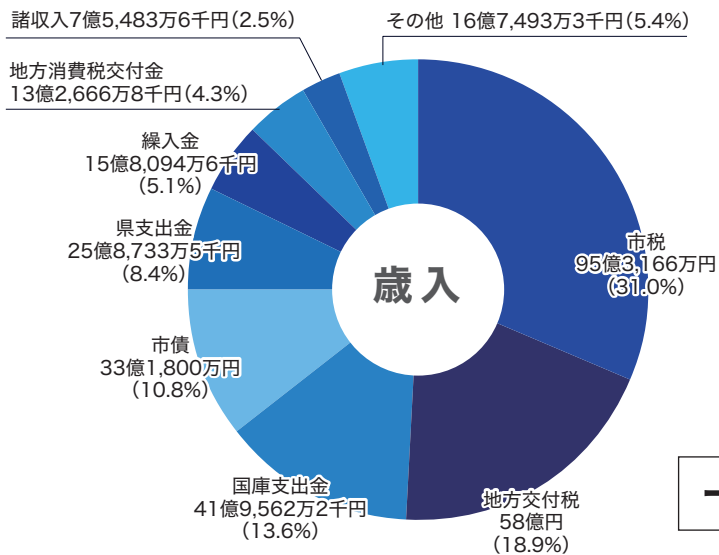
専門スタッフ、外部人材を活用するなど教員の負担を軽減し、学校教育環境の改善・充実を図ります。

【スクールソーシャルワーカー】

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、児童生徒が置かれているさまざまな環境に着目して働きかけることができる人材を配置します。

【部活動指導員】

生徒の競技力、技術力の向上を図るとともに、教員の部活動指導に係る時間を軽減し、効果的な教育活動を行えるよう配慮していきます。



■歳入
 自主財源のうち、市税は95億3,166万円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は58億円、国庫支出金については41億9,562万2千円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上していますが、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

一般会計 307億7,000万円

16 笠間城跡の史跡化の推進 [事業費 16,578千円]

【測量図化業務委託】

航空測量により得られた成果を元に1/500の地形図を作成します。

【文献調査】

笠間城跡に関わる記述を整理します。

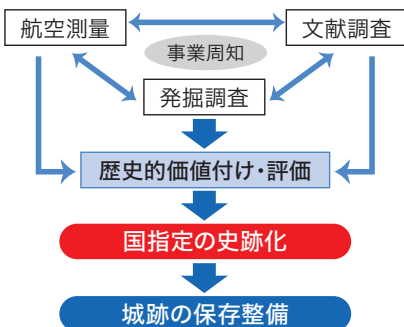
【現地踏査】

現地踏査を実施し、次年度以降に実施予定の発掘調査の計画を立てます。

【樹木伐採・草刈】

【事業周知推進事業】

笠間歴史フォーラムで城郭を題材とした講演会を実施します。



17 文化財の保存活用の推進

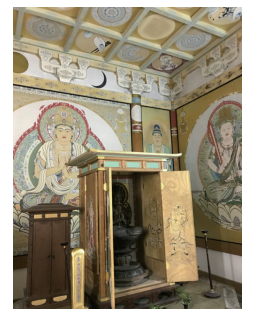
(大日堂の取得)

[事業費 17,500千円]

日本画家である木村武山は、明治9年に箱田に生まれ、横山大観らとともに画業に励みました。大日堂は、昭和10年に実家(箱田)に建立されたもので、後世に伝えていくべき貴重な文化遺産です。その貴重な文化遺産を市が取得し、文化財として後世に伝えていきます。

【大日堂に係る財産取得費および

諸手続き費用 [17,500千円]



18 いきいき茨城ゆめ国体の開催 [事業費 188,121千円]

正式競技3競技「軟式野球 (成年男子)」・「クレー射撃 (全種目)」・「ゴルフ (女子・少年男子)」、デモンストラーションスポーツ1競技「合気道」が開催されます。

19 東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン構想推進

(機運醸成・相互交流の推進) [事業費 8,765千円]

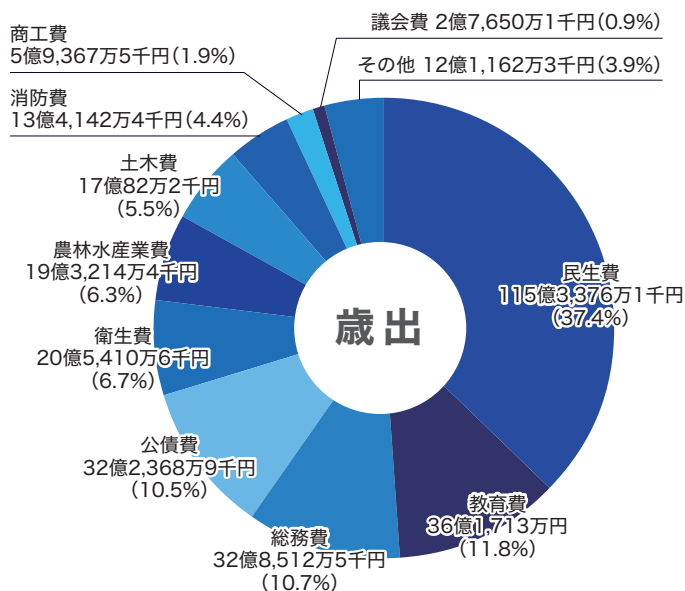
参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互地域の活性化を推進するため、ホストタウン相手国・地域選手団の事前キャンプに向けた誘致活動を行います。

【ホストタウン相手国・地域】

- ・タイ王国 (ゴルフ) …2016年6月登録
- ・エチオピア連邦民主共和国 (陸上競技) …2017年7月登録
- ・台湾 (ゴルフ) …2018年2月登録



■歳出
限られた財源のもと経費の節減に努め、各種施策に効果的な予算配分を行いました。民生費には、障害者自立支援給付費や、保育所および認定こども園入園負担金、生活保護、保育所等整備に対する補助金などの経費として115億3,376万1千円を計上しました。教育費には、みなみ学園義務教育学校整備、茨城国体の実施、算数・数学学力向上支援などの経費として36億1,713万円を計上しました。総務費には、本庁舎大規模改修、情報系システム機器更新、新規立地企業への補助、デマンドタクシーかさまの運行経費など32億8,512万5千円を計上しました。



20 東京オリンピック・パラリンピック 記念中学校駅伝大会の開催 [事業費 1,793千円]

1964年の東京オリンピック競技大会開催を記念して始まった県下中学校交歓笠間市駅伝大会に、姉妹都市・友好都市の中学校およびホストタウン相手国・地域の関係者を招待し、「東京オリンピック・パラリンピック記念大会」として開催することにより、2020東京オリンピックパラリンピック競技大会の機運醸成を図ります。



21 音楽のまちづくりの推進 (かさま音楽フェスタ〜奏〜)

[事業費 3,015千円]

「かさま音楽フェスタ〜奏〜」を開催し、誰もが優れた芸術に触れる機会を提供します。

22 「道の駅」整備の推進 [事業費 857,583千円]

地域経済の活性化と観光や地域産業の好循環を目的とした「道の駅」の整備を進めます。また、高速バスを使った首都圏からの観光客の取り込みや観光情報発信・レンタサイクルの活用を図るなど、笠間のゲートウェイとしての役割を担います。

【計画・設計業務委託】

土木・建築工事費の具体的な積算を行います。
施設運営に伴う運営管理業務委託を行います。

【公有財産購入等】

用地買収および補償費等の契約事務手続きを行います。

【道の駅整備工事】

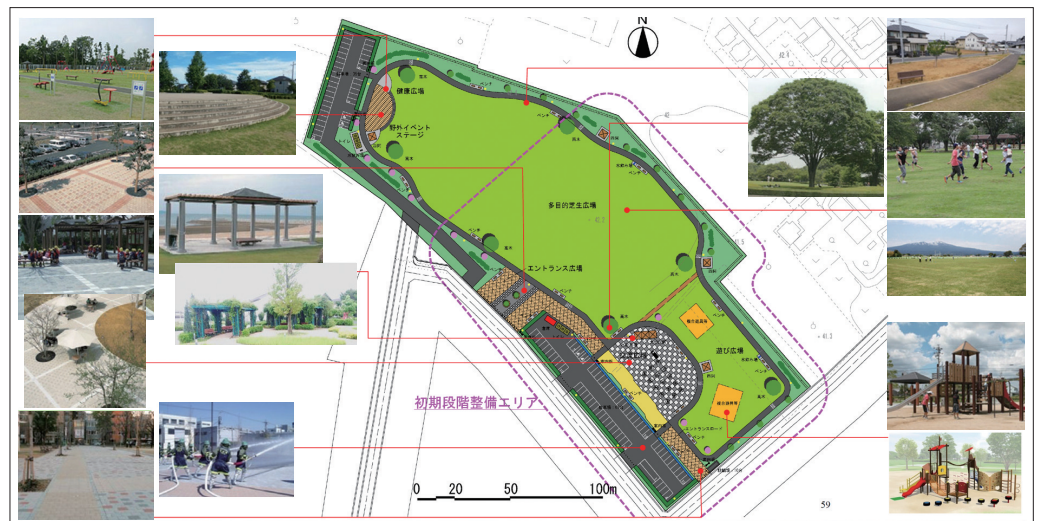
駐車場等の造成（土砂搬入）工事を行います。



衛生費 予防接種や各種健診、ごみ処理事業など 	公債費 市債の元金・利子の返済 	総務費 税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など 	教育費 各小中学校や公民館・図書館の運営など 	民生費 高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など 	市民一人当りに使われるお金 ※平成31年1月31日現在人口（住民基本台帳）76,274人で算出 合計 403,414円
26,931円	42,264円	43,070円	47,423円	151,215円	
その他 諸支出金など 	議会費 議会の運営など 	商工費 商工業支援や観光施設管理など 	消防費 消防団や防災施設の整備など 	土木費 市道の整備・補修や公園管理など 	農林水産費 農林業振興支援や農地の基盤整備など
15,885円	3,625円	7,783円	17,587円	22,299円	25,332円

23 畜産試験場跡地の利活用促進（利活用促進・多目的広場の整備） [事業費 209,891千円]

茨城県と協力連携を図りながら、全面的な利活用を促進するとともに、跡地の一部に2020年度の供用を目指した市民の憩いの場となる多目的広場の整備を進めていきます。



多目的広場 基本計画・イメージ図

24 友部駅周辺の道路景観構想の検討および策定（無電柱化の促進・道路景観の向上）

[事業費 8,500千円]

災害防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、茨城県で県道平友部停車場線の一部区間の無電柱化事業を進めています。それに合わせて友部駅周辺の道路景観（歩道）の整備に向けた設計業務を行います。

25 災害対策の強化 [事業費 27,058千円]

地域防災計画の見直し、被災者生活再建支援システムの運用、防災行政無線デジタル化などの事業を実施し、災害に強いまちづくりを推進します。

【笠間市地域防災計画の改定】

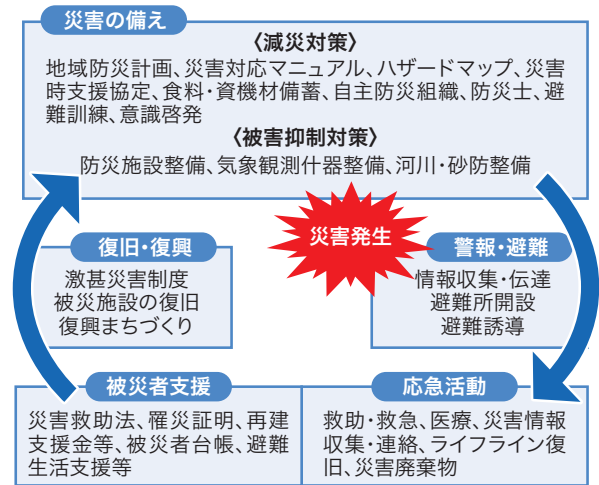
既存計画を見直し、総合的な災害対策を推進します。

【被災者生活再建支援システム運営負担金】

被災者へ迅速かつ公正な生活再建を支援するため、県内43市町村と共同整備したシステムを運用します。

【防災行政無線デジタル化整備事業】

現在運用しているアナログ方式の防災行政無線は、無線設備規則の改正で2022年11月末で使用できなくなることから、本市に最も適した防災行政無線を整備します。



■特別会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
国民健康保険	7,601,000
後期高齢者医療	844,000
介護保険	6,532,000
介護サービス	22,000
農業集落排水事業	812,000
特別会計合計	15,811,000

一般会計	307億7,000万円
特別会計	158億1,100万円
企業会計	73億4,292万5千円
予算総額	539億2,392万5千円

■企業会計内訳

(単位：千円)

区分	予算額
病院事業	1,197,374
収益的支出	1,127,511
資本的支出	69,863
水道事業	2,197,000
収益的支出	1,712,300
資本的支出	484,700
工業用水道事業	70,615
収益的支出	28,873
資本的支出	41,742
公共下水道事業	3,877,936
収益的支出	1,844,109
資本的支出	2,033,827
企業会計合計	7,342,925

■特別会計
特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合、保険料や使用料などそれぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことで、**企業会計**とは、事業から得る収益を主な財源として運営していく会計のことです。本市では、病院事業、水道事業、工業用水道事業および公共下水道事業の4会計となります。

27 防災機能強化に向けた防災設備の整備

[事業費 11,618千円]

停電時にも市民が安全に避難ができるよう拠点避難所の停電対策を図ります。

大規模災害時の通信手段の機能強化を図り、災害対策本部の通信環境を強化します。

【防災設備機能強化事業】

停電時でも、安全に避難ができるよう太陽光発電街路灯を拠点避難所2か所に整備します。

【衛星携帯電話外部アンテナ設置】

大規模災害時に衛星携帯電話で連絡が簡易にできるようアンテナを設置します。

26 消防団の支援 [事業費 72,967千円]

地域防災の中核として活躍する消防団を支援し、団員の加入促進を図り防災力の向上に努めます。

【非常備消防施設管理事業】

消防団詰所(市野谷地区)を更新します。

【非常備消防車両等更新事業】

消防ポンプ車2台(福原地区・寺崎地区)を更新します。

【消防団組織強化事業】

消防団員数が減少傾向にあるため、消防団員を地域ぐるみでサポートする組織を立ち上げます。



28 多様な生き方の支援 [事業費 1,835千円]

○ユニバーサルデザインの意識醸成

市民や外国人等の観光案内業務に携わる方等に対する講習会を開催し、意識啓発を図ります。

○多様な働き方促進事業

女性がライフステージに左右されず、自分らしくいきいきと働き続けられる環境づくりを進めていきます。

29 生涯活躍のまち構想の推進 (笠間版CCRC) [事業費 13,000千円]

高齢層だけではなく若年層にも、将来に向けて期待と安心を与える「笠間暮らし」を提供するコミュニティ (笠間版CCRC) の形成に向けた取り組みを推進します。

【先導するCCRCの形成推進】 【移住・二地域居住者の確保】 【各種施策との連携】

30 行政改革の推進 (働き方改革にもつなげる業務改善・ビルド&スクラップ・ICT化の推進)

[事業費 16,507千円]

限られた行政資源で持続可能な行政サービスを提供できる組織へ変革するため、民間活力の積極的な活用や、事業のスクラップ等、効率的な行政運営を目指した取り組みを進めます。また、ICT化による業務の効率化を強力に進めていきます。

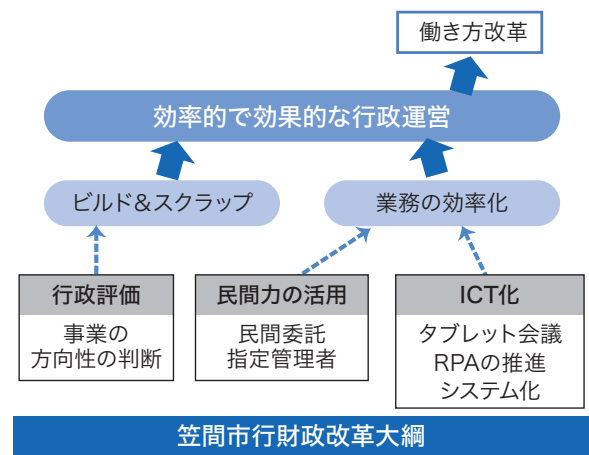
【行財政改革大綱の進行管理】

行政評価に基づいた事業スクラップ (事業の廃止、縮小等) の推進、業務の民間委託、指定管理者制度の導入を推進します。

財務会計、行政評価、文書管理等の内部管理業務について、効率的な運用に向けたシステムの再構築と一体的な運用を図ります。

【タブレット端末による効率的な会議の推進】

業務の効率化およびペーパーレス化に取り組んでいます。議会のほか、庁内の各種会議や教育委員会定例会などでも、タブレット会議を実施します。



31 自主財源の確保

(ふるさとづくり寄付金制度の強化、市税等収納対策の強化)

[事業費 66,472千円]

【ふるさとづくり寄付金業務代行委託等】

新たな返礼品の開拓を行い、返礼品の魅力を発信します。

【収納対策事務】

徹底した財産調査を行い滞納処分を強化し、関係機関と連携を図り徴収率向上に取り組めます。

【事業促進イベント等】

本市の魅力発信や元気かさま応援基金による各支援事業の取り組み事例をイベント等で紹介しPRします。



32 市役所本庁舎大規模改修の実施 [事業費 311,636千円]

本所庁舎 (議会行政棟) の改修にはユニバーサルデザイン[※]を取り入れ、高齢者・障がい者などを含むすべての人が、安全・安心に利用できる庁舎として整備を進めていきます。

※ユニバーサルデザイン

「万人 (Universal) のための設計 (Design) 思想、「すべての人のためのデザイン」を意味する。昨今では、「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」という広い概念をもつ。



誰もが利用しやすいトイレ

歩行が困難な方の駐車スペース

33 国際化の推進 (外国人相談窓口の整備)

外国人が笠間市で安心して暮らせるようさまざまな手続きのサポート・生活の相談を受ける窓口を設置します。